

食糧援助 ニュースレター

飢餓と貧困から人びとを救うために



United Nations
World Food Programme

2007.7.13 Vol. **23**

- 国連の物資輸送をリードするWFP
- ジョゼット・シーラン、WFP 新事務局長に就任
- 「一枚のビスケットが、未来へのチケットになる。」-WFPの公共広告キャンペーンビスケット篇 開始
- 国連WFP協会 2006年度寄付実績報告
- ウォーク・ザ・ワールド ～ 地球のハラペコを救え。～
- ドリユー・バリモア WFPの創設援減大使に
- 第4回WFP生徒作文コンクール「地球のハラペコを救え。～私の作戦～」募集開始

国連の物資輸送をリードするWFP

食糧などの人道支援物資はどのようにして困っている人々の手に届けられるのか、皆さんは考えてみたことがありますか。たいてい、助けを求める人々が多くいるのは、戦乱や自然災害の渦中です。銃撃戦が行なわれていたり、地雷が埋まっていたり、道や橋などが壊れていたり、洪水や大雪に襲われていたり…このような状況下で支援物資を運ぶのは困難を極めます。しかも、物資を届けられなければ人命が失われるので、一刻を争います。

あまり知られていませんが、WFPは国連の中でも随一の輸送集団です。去年、WFPはおよそ400万トンの食糧を78カ国に届けました。また、国連やNGOの職員など人道支援関係者のために、難民キャンプなどの活動現場へ向かう飛行機を国連諸機関を代表して運航しており、その搭乗者数は去年の

べ40万人に上りました。これだけの食糧と人を運ぶために、毎日、飛行機100機、船30隻、トラック3000台が世界中で稼働しています。

また、WFPは民間の運輸会社では運行が困難な場所にも物資を届けるため、様々な工夫をしています。道路や橋がないところではそれを作り、鉄道や港が壊れていればそれを修復します。道路に埋められた地雷は除去し、車が入れない山間部などでは象やラクダ、ロバなどの背に食糧を積み、道なき道を進みます。

そして、緊急事態が発生した時には、WFPがすべての国連機関を束ね、調整を行い、緊急支援物資の輸送の全体指揮をとります。例えば去年、レバノンで紛争が起きた際には、WFPは、テント、毛布、水の浄化装置、医薬品など、ユニセフやWHO（世界保健機構）といった国連諸機関や現地で活動していたNGOなどの支援物資をすべて運びました。現地事務所の立ち上げ、船・トラック・運転手の手配、イスラエル軍やレバノン政府との物資輸送時の安全確保に関する話し合いなども、WFPが指揮を執りました。



近年、緊急事態の発生ケースが増加しています。例えば、1980年代には食糧危機をもたらすような緊急事態は年間平均15件ほどでしたが、2000年以降は30件以上に増えています。助けを求める人々に支援物資をいち早く届けることは、WFPのみならずすべての国連機関にとって何より重要な任務です。WFPはこれからも物資輸送のプロ集団として国連をリードします。



ジョゼット・シーラン、WFP 新事務局長に就任

4月5日、ジョゼット・シーランがWFP 国連世界食糧計画の新事務局長に就任しました。

シーランは米国政府、マスコミ、財界などにおいて多彩なキャリアを積んできた人物で、米通商代表部副代表としてアジアやアフリカの貿易交渉などに関わったり、アメリカ国務省国務次官として経済・エネルギー・農事を担当したりしてきました。また、世界銀行でアメリカ代表代理を務めたこともあり、開発途上国の能力開発に力を入れ、経済発展による自立を支援してきました。



2006年に、シーランはアナン前国連事務総長により、開発・人道支援・環境分野の国連システムの一貫性に関するハイレベル委員会の一員に任命されました。シーランは国連ハイレベル委員会に在職中、開発や人道支援の専門家やNGO団体、各国の首脳などと面談し、WFPが国連システムの中で貴重な存在である事を認識しました。

シーランはローマ本部で行なわれた就任演説の中で、世界で飢餓に苦しむ8億5千万人以上の人々のことを常に考え、彼らに食糧のみならず将来への希望を提供することを誓いました。

シーランは、WFPにとっての重要課題を自らの目で確かめるため、就任直後にアフリカを訪問し、エチオピア、スーダン、チャドを視察しました。

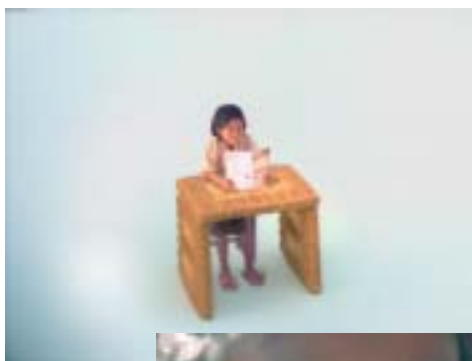
「一枚のビスケットが、未来へのチケットになる。」

－ WFPの公共広告キャンペーン ビスケット篇 開始

WFPの“給食による教育機会の拡大”が、AC公共広告機構の2007年度支援キャンペーンのテーマに選ばれ、7月1日からテレビ・ラジオ・新聞・雑誌・ポスターで全国展開されています。

キャンペーン4年目となる新しい公共広告では、WFPが途上国で学校給食として配っている栄養強化ビスケットに注目。ビスケットを食べて勉強しているインドネシア・ロンボック島の元気な子どもたちが登場します。

企画・制作は(株)電通が、ナレーターは映画「硫黄島からの手紙」の演技で世界の賞賛を受けた二宮和也さんが担当して下さいました。



国連WFP協会 2006年度寄付実績報告

2006年度、WFP日本事務所と国連WFP協会は、干ばつとそれに続く大洪水の被害に見舞われたアフリカ東部「アフリカの角」地域や、学校給食プログラム等への支援活動を行ないました。同年度に国連WFP協会へ寄せられた個人、企業・団体からの寄付額は、協会設立以来最高となる、2億2,300万円となりました。寄付金の内訳は表の通りです。「WFPの活動を日本より支えてくださる皆様に職員一同感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます」と、国連WFP協会専務理事、蟹江雅彦は感謝の意を述べています。

2006年度 国連WFP協会 寄付実績(2006年1月～12月)

賛助会員(個人)	¥7,863,292
賛助会員(学生)	¥233,839
賛助会員(団体)	¥12,773,634
一般協力者 個人	¥54,720,364
一般協力者 団体	¥57,517,368
その他(匿名・募金箱など)	¥11,043,388
評議員(個人)	¥30,000
評議員(団体)	¥79,678,447
寄付額合計	¥223,860,332

ウォーク・ザ・ワールド ～地球のハラペコを救え。～

世界で3億5,000万人以上といわれる子供たちの飢餓の撲滅を目指す地球規模のチャリティイベント、「ウォーク・ザ・ワールド」。5月13日(日)、世界100ヵ国以上で同日開催され、数十万人が参加しました。

日本のメイン会場、横浜では、昨年の820人を大きく上回る1,481名が参加。ゲストとして、女子プロレスラーのジャガー横田さん、女優の竹下景子さん、2006ミス・ユニバース世界大会第2位の知花くららさんをお迎えしたほか、各国大使館や企業各社などからも大勢の参加を頂きました。また、奈良でも近畿大学の学生が中心となり

小規模なウォーキング(約30人)が実施されました。当日の様子を、20枚以上の写真と共にWFPのホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

参加費1000円のうち、500円は募金としてWFPの「学校給食プログラム」に使わせていただきます。募金箱に入れていただいたご寄付を含め、今回の「ウォーク・ザ・ワールド」では88万2017円が集まりました。これで、4万食以上の給食をまかなうことができます。ご参加いただいた皆さん、どうもありがとうございました。



ドリュー・バリモア WFPの飢餓撲滅大使に

世界的に有名なハリウッド女優、アメリカのドリュー・バリモアがWFP 国連世界食糧計画の飢餓撲滅大使に任命されました。

現在32歳のドリュー・バリモアは、子役として出演したスティーブン・スピルバーグ監督の「E.T.」で一躍有名になりました。近年は「チャーリーズ・エンジェル」などに出演しています。

バリモアは、これまでに何度か、WFPが学校給食を配給しているケニアの学校を視察しています。

大使任命に当たっては、「学校給食は奇跡的な効果をもたらします。給食によって子どもたちのお腹が満たされるだけでなく、就学率、授業への出席率、そして成績が大幅に向上します。給食を提供するのに必要な額は、一人の子どもにつき、一日あたり

たった20円です。わずかな金額でその子どもの人生を変えることができるのです。世界中の子どもを飢餓から救うことほど重要な課題はないと思います。」と語り、学校給食プログラムを推進していく意欲を示しました。



第4回WFP生徒作文コンクール 「地球のハラペコを救え。～私の作戦～」 募集開始

「飢え」を実感する機会が少ない日本の子供たちも、次の世代を担う国際社会の一員です。世界の飢餓状況やWFPの食糧援助活動を学ぶ機会として、小学校5・6年生及び中学生を対象に、第4回WFP生徒作文コンクール「地球のハラペコを救え。～私の作戦～」を実施します。

昨年は国内外から2,000通近い応募を頂きました。本年も、1人でも多くの児童・生徒が世界の飢餓状況を知り、理解し、自分自身の生活に投影することを、そして飢餓を救うためのアイデアが一つでも多く寄せられることを願っています。詳しい情報、応募票、募集チラシは www.wfp.or.jp にて入手して下さい。

【応募要項】

テーマ

「地球のハラペコを救え。～私の作戦～」

題名

自由

募集期間

2007年6月20日(水)～9月20日(木) (締切日必着)

部門 1) 小学生部門(5・6年生) 2) 中学生部門(1～3年生)

応募形式

- 1) 応募は日本語に限ります
- 2) 作文の長さは400字詰原稿用紙で1,000字から1,200字まで
- 3) パソコンなど機械による入力の場合は原稿用紙を使用しなくてもかまいませんが文字数は20字×20字の形式でお願いします。

※テーマのねらい

2006年の第3回コンクールは、テーマ「『子どもの飢え』をなくそう!～私のアイデア～」によって、子供たちから質の高い具体的な提言が数多く寄せられ、関係各所から高い評価をいただきました。今年も昨年の方針を踏襲し、子どもたちの新鮮なアイデアを募ることに決定しました。また「地球のハラペコを救え。」は、日本における飢餓救済活動のキャッチフレーズとしての普及を目指し、WFPが様々な機会に使用していくものです。



コンクール募集チラシ



第3回作文コンクール表彰式(渋谷・国連大学ビルレセプションホール)

ご入会/ご寄付のお願い

WFPは食糧支援を通じて「未来」を届けています。2006年、WFPは世界78ヵ国で8,780万人に400万トンの食糧を届けました。WFPの食糧支援活動にぜひご協力ください。

● 会員となって国連WFP協会の活動を支援してください。

- 一般会員(個人の立場で活動を支援)…年額1口5千円
- 学生会員(学生の立場で活動を支援)…年額1口2千円
- 団体会員(企業や団体などで活動を支援)…年額1口5万円

● ご寄付をお願いします。

世界中で展開されているWFPの食糧支援活動を一層充実させるため、日本の皆様にご寄付をお願いしています。お預かりしたご寄付はWFPローマ本部に送金されます。

*会費およびご寄付は次の郵便口座番号にご入金内容を明記の上お振込みください。
口座番号=00290-8-37418
加入者名=国連WFP協会

WFP 国連世界食糧計画日本事務所
〒220-0012 横浜市みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜6階
www.wfp.or.jp

国連WFP協会
〒220-0012 横浜市みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜6階
www.jawfp.org
TEL: 045-221-2515 FAX: 045-221-2534